

平成 28 年 12 月 20 日

焼津市長 中野弘道 様

第 6 次焼津市総合計画策定市民会議

第 6 次焼津市総合計画における将来都市像案の提案書

1 将来都市像案の市民会議案

(1) 基本となるもの

やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら
～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～

込められた想い

焼津の強みである地域資源や歴史・文化を、市内外そして世界に情報発信することで豊かな都市となる。

優しい市民性を育て、焼津愛を育み、誰もがずっと住み続けたいくなるまちとなる。

(2) その他に考案されたもの

- ・ほほえみ WAKUWAKU やいづ愛
～豊漁と交流でにぎわう潮風のまち
- ・幸せあふれる 潮風のまち ころの港
～誰もがイキイキ主人公～
- ・いいとこ いいもの いいひと「いっぱい」
～海山川で織りなす文化 笑顔あふれる 活きなまち～
- ・はばたけ！駿河一の港町 豊かな風土と文化が結ぶ笑顔の理想郷
～やっぱり いいね やいづって～
- ・ずっとこのまちが好き 黒潮の幸を届ける活きがイイまち
～みんなが主役、優しさで支え合うまち～

第6次焼津市総合計画における将来都市像案の市民会議案の提案

市民委員発言内容

第6次焼津市総合計画策定市民会議の中で検討した将来都市像案の基本となるものとして「やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら ～世界に広がる豊かな水産・文化都市 YAIZU～」を提案します。

この将来都市像案は、今年の6月から12月までの半年間をかけて、市民委員47名、市民ファシリテーター6名、市職員のプロジェクトチーム14名による市民会議を開催する中で、市内の小中学生からの12,000件の意見、市内各種団体の代表者からの意見、市内外に対して実施したアンケート結果、そして、市長講話の内容を共有しながら、考案し、磨き上げてきたものです。

将来都市像への想いとしましては、焼津の強みである海や港、魚、水資源、歴史・文化などの豊富な地域資源を市内外、そして世界に情報発信することで人の輪や交流を広げ豊かな都市となること。

優しい市民性を育て、焼津愛を育み、誰もがずっと住み続けたいまちとなること。

また、将来都市像のやさしさの「や」、いとしさの「い」、ずっと住みたいの「ず」それぞれの頭文字を繋げると「やいず（づ）」になります。このようにみんな焼津が大好きだという想いが込められています。

将来都市像の市民会議案の基本となるものは先に述べたものですが、市民会議では、他にも考案された将来都市像が5つあります。表現の違いはありますが、そのどれもが「焼津市が持つ豊かな地域資源を活かして活力を生み出し、特色ある港町をつくり、誰もが笑顔でいられる都市」というような共通の方向性を持つものであり、素晴らしいものであると考えておりますので、庁内会議や審議会における検討の際には、参考としていただきますようお願いいたします。